



第26巻2号 通刊120号

2025年4月29日発行

ツール

薄緑の新芽がグイグイと伸びています。早くも夏日、真夏日が続き、新芽も慌てていることでしょう。今年も暑い日々が続くようですから、体調管理には十分に気遣うことにしましょう。

「日本古書通信」が年内に終刊することのお知らせをいただきました。昭和9年に業界誌としてスタート、昭和12年1月号より一般読書人を購読対象として古本販売目録も加え、“古書店と読者を結ぶ趣味と実益の雑誌”に変身。戦火をくぐり抜けながら昭和22年6月に復刊、昭和29年から毎号古書販売目録を付して現在の形態となり、90巻1157号で幕を下ろすことになりました。

創刊した八木敏夫さんは一誠堂書店から独立して八木書店を創業されたと・・・そのように認識してきましたが、「八木書店略史」によりますと、独立後のスタートが「日本古書通信社」で、古書店としては「六甲書房」とのこと。兵庫県ご出身ですから、この店名がついたのでしょう。「八木書店」は昭和28年と初めて知りました。

八木敏夫・福次郎・勝兄弟は古書業界に多大なエネルギーを蓄えていただきましたが、ご兄弟の中で一番お世話になったのは八勝堂書店・八木勝さんです。業界トップクラスのパワフルな行動力は、若輩者にはとてもよい刺激でした。

日本古書通信以外にも、商業誌としては「彷彿月刊」がありました。なないろ文庫ふしぎ堂・田村治芳さん、石神井書林・内堀弘さんたち古書店主が中心となり、昭和60年9月創刊、平成22年10月まで300号発行していました。古書と古書店をテーマにした情報誌で、日本古書通信とは違う観点で特集が組まれ注目されました。

機関誌「ふぐるまブレティン」もありました。反町弘文荘主宰・文車の会が昭和50年6月に創刊し、83号で終刊しています。販売ツールとして「古書目録」が主流の時代で、自店で発行するには、原稿作成、編集、印刷等の実務を勉強する必要があると、会員が持ち回りで作成していました。書物を充分に知らしめるためには、文章能力が求められますから、その研鑽の場であったのです。そこには、反町茂雄さんの厳しいご指導がありました。「てにをは」のチェックまでされていたのですから、如何に熱心な方であったか、如何に完璧を目指していたかがわかります。

文車の会は勉強会であり、座学や研修旅行など古書店に携わるのに必要なことが盛り込まれていました。京都研修旅行の前

合資会社金井書店発行

〒161-0033 東京都新宿区下落合3丁目20番2号

編集:営業本部

〒161-0032 東京都新宿区中落合4丁目21番16号

TEL 03-5996-2888 FAX 03-3953-7851

URL <https://www.kosho.co.jp>

E-mail office@kanaishoten.jp

には、京都についての座学があり反町さんの講義が開かれていました。遊び気分どころではありません。研修旅行後には、レポート提出が待っていました。

この「えぽっく」もこれらの影響があり、お客様とのコミュニケーションツールとして始めました。八重洲地下街に出店して17年目、八重洲古書館開店から6年目、リピーターが増え、スタッフも増えた時期でした。多種多様な取扱商品を知っていただく効果、お客様との会話が aument ことは、スタッフへの応援ツールとなりました。

この頃、デジタル化が進み、古書古本の販売サイト「日本の古本屋」が認知されはじめましたので、八重洲古書館に閲覧用PCを設置して、お客様にご利用いただいたり、探究書をその場でチェックしてご案内したりと、活用しました。今では、スマートフォンで容易に探すことができますが。この四半世紀でデジタルの世界を身に纏って生活する時代となりました。開催中の大阪・2025日本国際博覧会もスマートフォン携帯が前提です。

情報の入手ツールが紙からスマホに変わった今日、雑誌購読が減少するのも仕方ありませんが、電池切れを気にすることなく、詐欺サイトに誘導されることもない、安心・安全なアナログツールには、まだまだ頼らざるを得ません。最先端技術の集い“2025日本国際博覧会”でも、QR CODEをプリントしてお持ちくださいと案内していました。

空飛ぶ車のデモンストレーションが行われているようですが、実用化されたら、「右見て、左見て、手を上げて渡りましょう」に「上も見て」を加えることになります。外出時だけでなく、家の中にいても、いつ車が降ってくるかわからない“次世代”が近づいているのですね。

全自動運転の車も現実になるのでしょうか？運転技能に関係なく、安全に移動してくれるのでしょうか？今夏の運転免許証更新のために、「運転免許取得者等教育(高齢者講習同等)終了証明書」を交付していただいた身として気になるところです。

八重洲地下街を卒業して、早10年！この「えぽっく」が届くのをお待ちいただく方がいらっしゃる限り発行します。今の目標は、創業の地で100周年を迎えることです。

皆さまのご健康とご繁栄を祈念申し上げます。

金井書店 花井敏夫



新宿サブナードジャングルスカイ広場(催事場)
10:30～21:00

Part 1 5月8日(木)～5月10日(土)
中央書房 がんどう 文省堂書店 弘南堂書店

Part 2 5月11日(日)～5月13日(火)
林書店 藤井書店 古本うさぎ書林 金井書店

Part 3 5月14日(水)～5月16日(金)
林書店 古本うさぎ書林 中央書房 金井書店

Part 4 5月17日(土)～5月19日(月)
林書店 文省堂書店 弘南堂書店 金井書店
-えぽっく掲載品展示販売期間-

Part 5 5月20日(火)～5月22日(木)
全品各冊 300円均一 (税込)
22日(木)最終日は20時閉店



開催中の情報は

<https://furuhonromansu.kosho.co.jp>

X・instagram は、furuhon_romansu

会場直通電話 090-5996-3994 (会期中のみ)

お問い合わせ先・主催／金井書店

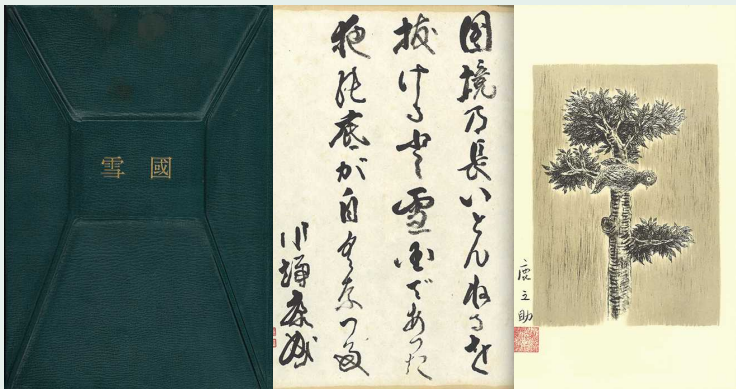
東京都新宿区下落合 3-20-2

TEL 03-5996-2888 <https://kosho.co.jp>



こちらの商品は、古本浪漫洲
Part4にて展示販売いたします。
期間=5月17日(土)～5月19日(月)

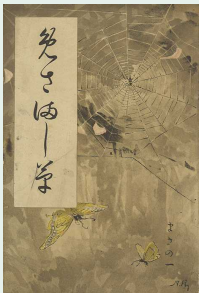
※こちらの商品は1点限りですので売り切れの際はご容赦ください。
※展示前の前売り、取り置きはご容赦ください。



定本 雪国

200,000円

川端康成 牧羊社 限30 夫婦函外函 毛筆識語署名落款入 岡鹿之助多色コロタイプ装画4葉綴込 (1点毛筆署名入) 天地小口金装 表紙少汚れ 夫婦函内側斑点シミ 小口に1mm程の黒点 昭46



めざまし草

2,500円

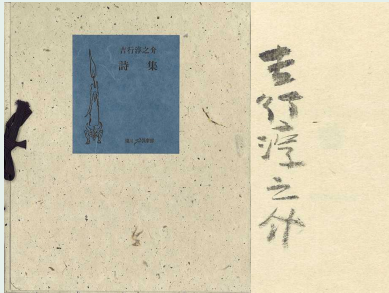
まきの1 正太夫 三木竹二 幸田露伴 森嶋外他寄稿 星野鴎治郎編 盛春堂 小口イタミ 明29



志きし満 1巻1号

4,500円

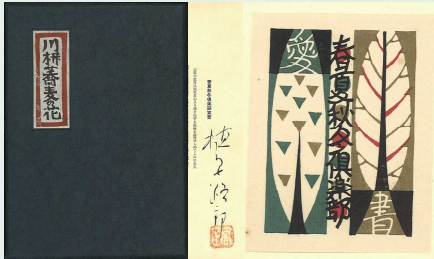
高島北海 高森碎離 河上肇 徳田秋声他寄稿 飯坂理編 日韓社支部 経年変化有 綴元・背イタミ 表紙斑点シミ 明44



吉行淳之介詩集

5,500円

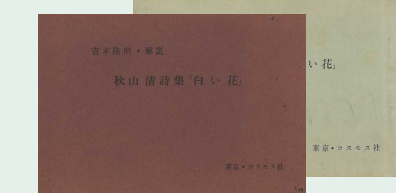
吉行淳之介 湯川72倶楽部 限108 帙 毛筆署名入 昭54



川柳蕎麦の花

5,000円

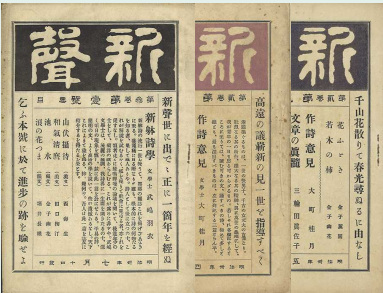
植原路郎編 春夏秋冬倶楽部 限20 夫婦函 青園柱内藤政勝装本 馬瀬聖蔵書票1葉入 蔵書票極少シミ 函背書名書込・少イタミ・内側シミ 昭37



秋山清詩集「白い花」異装2種

2冊 3,500円

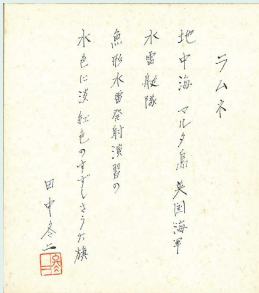
吉本隆明解説 東京コスモス社「刊行についての呼びかけ」異種入 グレー表紙=59頁 赤表紙=63頁 昭41



新聲 2巻4号・2巻5号・3巻1号

3冊 5,000円

大町桂月 金子薫園 正岡子規 落合文与 与謝野鉄幹他寄稿 新聲社 経年変化有 明30



田中冬二サインペン色紙「ラムネ」

4,500円

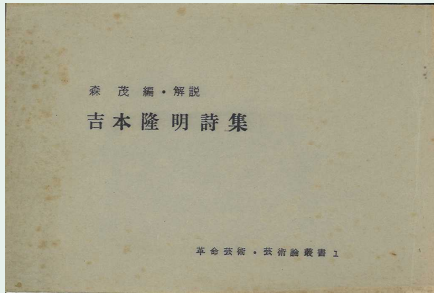
うっすらとシミ



水上勉色紙「雁の寺 勉」

8,800円

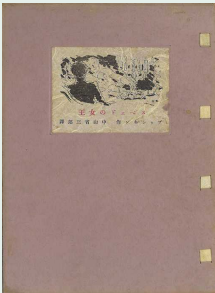
斑点シミ有



吉本隆明詩集-革命芸術・芸術論叢書1-

38,000円

森茂編・解説 発行年発行所等不明 奥付は元より無



スぺドの女王

4,500円

ブナキン作 中山省三郎訳 プリッ挿画 書物展望社 限500 函欠 ヤケシミ 個人蔵書票貼付 扉に個人印 昭12